

## 第1学年「国語」の学力向上のための方策

### 児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果** ○ ひらがなや音読の学習を楽しみにしている児童が多い。  
○ 就学前に文字を書く経験をしている児童が多い。
- 課題** ▼ 文字の形を正確に書くことが苦手な児童が多い。  
▼ はっきりと大きな声で音読することが苦手な児童が多い。

### 指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ ひらがな、カタカナ、漢字の3種類の文字を正しく書ける力
- ◇ はっきり大きな声で音読ができる力
- ◇ 自分の思いを話したり、書いたりして表現する力

### 具体的な改善策

- 音読や朝読書を積み重ね、ひらがな、カタカナ、漢字が正しく読めるようにする。
- 「音読カード」を活用して、音読の学習を継続する。
- 短作文の時間に、例文を提示することで、基本的な書き表し方を身に付けられるようにする。
- 話型を示し徹底させることで、話す力を伸ばす。

### 達成目標

- ◎ いろいろな絵本を読むことができる。
- ◎ 自分の思いを話したり、簡単な文章で書いたりすることができる。
- 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。
- 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。